

(平成30年 2月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	<p>2月の水産物の総入荷量は、前年同月と比べ、鮮魚、加工水産物はほぼ前年並みの入荷となったが、冷凍魚が大きく下回り、全体で3%下回った。</p> <p>総取扱金額は、前年同月並みとなった。</p> <p>3月は、天気も少し安定して漁獲が徐々が増えてくる時期である。また、まだいなどの養殖魚については、引き続き安定した入荷が続くと見込まれる。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>2月の鮮魚の入荷量は、前年同月並みで、単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、びんちょう、さわらの入荷量は上回り、単価は下回った一方、ぶりの入荷量は下回り、単価は上回った。</p> <p>3月は、いいだこ、ます、しろうお等、早春の魚の入荷が一段と増え、めばる、さより、まながつおもこれから旬を迎える。</p>
冷 凍 魚	<p>2月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ22%下回り、単価は6%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびは、海外需要の増加による値上がり傾向が続いていることから、国内需要が低下し、入荷量は下回った。</p> <p>1月以降、円高傾向が続いており、輸入物を中心に値下がることが見込まれる。</p>
加 工 水 産 物	<p>2月の加工水産物の入荷量は、前年同月並みで、単価は2%上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、開干あじの入荷量は上回り、単価は下回った。ちりめん、ゆでたこは、入荷量が下回り、単価は上回った。</p> <p>3月からは、富山湾のほたるいか漁が始まるなど、日本海での漁が本格化する。富山湾で水揚げされるほたるいかは、他の産地で水揚げされるものと比べ、大型で丸々している。</p>

	ちりめんの原料となるしらすの春漁が始まっているが、今のところ、秋漁に続き不漁となっている。
--	---

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	和歌山,長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ24%上回ったが,大型の入荷が増えたことから,単価は8%上回った。
ま い わ し	石川,富山で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ35%上回り,単価は10%下回った。
さ ば	三重,静岡で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ6%上回り,単価は13%下回った。
す る め い か	長崎,富山で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ4%上回り,単価は13%下回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ9%上回り,単価は8%下回った。
よ こ わ	長崎,韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月並みであったが,単価の安い輸入物の韓国産の入荷量が増加により,単価は4%下回った。
ぶ り	鹿児島,長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ21%下回り,単価は14%上回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ24%下回り,単価は6%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ27%下回ったが,生鮮物の好調な水揚げによる影響により,単価は24%下回った。

(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ５％下回り、単価は９％上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月並みであったが、中小型物を原料とする製品中心の入荷であったことから、単価は４％下回った。